

ビルメンFUKUOKA

平成19年

10

VOLUME 166

編集・発行 社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号(藤田ビル2F) TEL.092(481)0431

福岡県ビルメンテナンス協会ホームページ <http://www.fukuoka-bma.jp>

健康管理対策の早急な実施を

福岡労働局労働基準部
労働衛生課長

坂田 勲俊



(社)福岡県ビルメンテナンス協会及び会員の皆様方には、平素より労働行政にご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、福岡県内における労働衛生関係の状況をみますと、一般健康診断の有所見率は年々増加し、平成18年では約49.9%であり、10年前と比べて約9.8ポイント増加しております。その中で、ビルメンテナンス業を含む清掃業の有所見率は、全産業の有所見率より約17ポイントも高く、約67.5%となっています。

検査項目でみると、高脂血症、高血圧等の生活習慣病と関連のある血中脂質検査、肝機能検査、血圧といった項目が高い有所見率を示しており、健康診断の的確な実施と適切な事後措置が重要となっております。なお、平成20年4月1日から、雇入時の健康診断及び定期健康診断の項目に、腹囲の検査が追加されるなどの改正が行われ実施されることとなっております。

また、労働者に業務による明らかな過重負荷が加わり発症した脳血管疾患及び虚血性疾患等(いわゆる「過労死」等の事案)の労災認定件数は、平成18年度は全国で355件にものぼり、平成17年度に比べ25件増加しており、長時間労働等の過重労働による健康障害防止対策が重要な課題となっております。

さらに、全国の自殺者が年間3万人を超え、働き盛り層である中高年の自殺が増加しております。このような状況の中で、仕事や職場生活に関する強い不安、

悩み、ストレスを感じている労働者が6割を超えており、仕事に対する心理的負荷が原因で精神障害を発症し、ついには自殺に至る事案も増加しております。このため、メンタルヘルス対策も重要となっております。

当局におきましては、過重労働による健康障害防止対策の推進、アスベストによる健康障害防止対策の徹底、メンタルヘルス対策の推進等を重点として取り組んでいるところですが、過重労働対策では、平成20年4月から、労働者数50人未満の事業場に対しても長時間の時間外・休日労働を行った労働者に対する医師による面接指導が義務づけられるため、その周知徹底を図ることとしております。また、アスベスト含有建材が使用された建物等のメンテナンス等を行う場合は、アスベストばく露防止のための労働者への研修や適切なばく露防止措置の実施をお願い致します。さらには、労働者の高齢化にも配慮した健康管理等の対策の実施もお願い致します。

福岡県ビルメンテナンス協会会員の皆様方におかれましても、これらの対策へのご協力と取り組みを是非お願い致します。

今年度の全国労働衛生週間のスローガンは、「こころにゆとり からだに余裕 みんなでつくる 健康職場」です。「心とからだ」の両面の健康づくりが求められております。皆様方の積極的な取り組みをお願い致します。

2007 都市ビル環境の日

行事内容

シンポジウム

日時：平成19年10月4日（木）13：30～16：30

会場：九州エネルギー館

テーマ「**建物と省エネルギー**」

13：30	開会挨拶	(社)福岡県ビルメンテナンス協会	会長 青木 博志
13：35	来賓挨拶	福岡県知事 福岡市長 北九州市長	麻生 渡 吉田 宏 北橋 健治
13：50	基調講演	「建物と省エネルギー」 財団法人 省エネルギーセンター 診断指導部 技術専門職	三角 治洋
—— 休 憩 ——			
15：00	研究発表	「必見省エネ仕事人」 (社)福岡県ビルメンテナンス協会	青 年 部
15：30	パネルディスカッション パネリスト	財団法人 省エネルギーセンター 診断指導部 技術専門職 (社)福岡ビルディング協会 理事 経営委員長 福岡市財政局財産管理課 アセットマネジメント総合調整担当 東洋ビル管理(株)省エネルギー技術研究チーム チーフアドバイザー	三角 治洋 結城 基夫 馬場 章弘 中村 聡
	コーディネーター	(株)朝日ビルメンテナンス 代表取締役社長	金子 誠
16：30	閉会挨拶	(社)福岡県ビルメンテナンス協会	副会長 古賀 修

クリーン アップ福岡

日時：平成19年10月4日（木）10：30～12：00

場所：福岡県下主要都市中心部及び会員受託物件の周辺

行事：公共施設の清掃及びゴミ収集

クリーンアップ福岡 説明会開催

今年で13年目を迎える「都市ビル環境の日」の行事の一つの「クリーンアップ福岡」の説明会が、9月12日（水）北九州地区で、9月14日（金）福岡地区で開催されました。

北九州地区

会 場 北九州パレス 第2会議室
参加会員数 17社 23名

福岡地区

会 場 福ビル 9階 第1ホール
参加会員数 56社 64名

公益法人 への道 『Q&A』

国政は大揺れとなっていますが、行政改革の一環として推進されている公益法人改革問題はその軸足を外すことなく本来の改革目的を全うしつつあると察します。協会の常設委員会においても公益化ワーキンググループが立ち上げられ、各事業分野における公益性の担保や創造という課題に熱心に取り組んでもらっています。このワーキングの進捗により具体的な公益事業組織の成り立ちや構造が明らかになってくると考えています。

お陰さまで会員各位より公益化問題に対する疑問や意見が活発に寄せられるようになりました。以前は「なぜ我々協会が公益化問題に巻き込まれなければならないのか?」「公益化問題で大騒ぎしているのは福岡県だけではないか、そんなに深刻な問題なのか!」という趣旨の意見・質問が大勢でした。対応する特別委員会を結成し、半年以上にわたって会員に地道に説明を重ねて来た結果、『公益改革は受身(規制)で対処しても真の事業価値を創出することは出来ない。自主自立的に対応してこそ未来を切り拓く事業形態を構築することが出来る』という本質を徐々に理解してもらっていると感じます。その理解と信頼の中でさらに率直かつ正直な質問(意見)がぶつけられているのが現状です。凡そ改革に痛みが伴うことは避けられません。いま私たちは協会組織の事務整理をしているのではなく、改革を断行しているのだという認識と覚悟を忘れないようにしたいと思います。

Q&Aその8:「特別委員会の説明・報告で、公益化への背景や理由や手順はだいたい分かった。しかし一番肝心なその必要性について未だに分らない!協会は、公益社団にならなければ本

公益社団法人化特別委員会 座長 金子 誠(副会長)

当に存在意義が無くなるのか?」

座長見解:冒頭に公益化は“=改革”と説きました。その大局観をみなさんと考えてみます。改革には痛みが伴います。どの時代にあっても誰もわざわざ痛みを感じる変化は望まないものです。しかし変化しなければ滅びてしまうのであれば、どのような生き物や組織であっても生き延びるために変化せざるを得ません。そこで会員のみなさんへ質問ですが、我々地場の中小ビルメン企業がいまのままの事業形態で10年後も自律的に存続しているでしょうか?いまのままでも真面目にやっていたら10年後も大丈夫ということであれば、協会そのものも必ずしも公益社団である必要はないのかもしれない。しかし時代の流れ・変化がそれを許してくれる情勢でしょうか。例えば我々の業の基である善良な労務は、どうなっていくでしょうか・・・最低賃金の継続的な大幅改定、いまや主役のパート従事者の社保加入、法定福利費負担率の上昇など就労弱者救済のための諸国策や労働関係法の改正により従来の事業労務原価体系ではその限界点を迎えることは自明と思われれます。そのうえ坑う事の出来ない少子高齢化が、慢性的な雇用難や人材不足に拍車をかけることとなります。このような障壁に対し業者団体であり営利団体ともなる一般社団に立ち向かうだけの資質や理念を期待することができるでしょうか。少なくとも公益法人であれば、我々の業の宝である善良な労務力をいまの荒れ行く市場に野ざらしにするのではなく、公衆衛生向上という公器に受け止める可能性(=ビルメン環境力)を追求することができます。これらの可能性については、各委員会の公益事業化ワーキングの構想と成果を待ちたいと思います。いま「公益化の必要性は何か?」と問われるなら直裁に「業の存続を賭した改革!」であるとお答えします。

西日本サミット IN 福岡

青年部部長 山崎 浩太郎 (株)ダイワス

去る平成19年8月24日に、福岡サンパレスにて、西日本サミットIN福岡を開催いたしました。

このサミットには四国4県（愛媛・香川・高知・徳島）中国4県（鳥取・岡山・広島・山口）九州7県（佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・福岡）それに9月に行われる青年部全国大会の地、秋田県からも参加をいただき16県総勢109名の参加者の中、福岡県青年部西日本サミット実行委員長吉次氏の開会宣言で幕を開け、各県青年部紹介並びに部会長紹介と続き、福岡県青年部部長挨拶、福岡県協会青木会長の挨拶と進んでまいりました。

その後、福岡県青年部倉重副部長より今回の主旨説明及び本日のスケジュール説明を行いました。

今回のサミットは、「未来発見サミット！競争から共生へ」というテーマで現在ビルメン業界が抱えていると思われる課題を4つ選択し、それを分科会に分けそれぞれの課題に専門のアドバイザーを配し参加者と討論していくスタイルで行いました。

ここで各分科会のテーマ並びにアドバイザーのご紹介をいたします。

第1テーマ 社会保障問題

パート労働者に対する社会保険にどう対応するか

アドバイザー 打越もとやす氏 福岡市市議会議員

福岡市の総合計画、財政、教育、地域振興、国際交流などの分野で活躍中

第2テーマ 人口減少問題

労働者減少に伴う雇用対策（外国人雇用について）

アドバイザー 池田ちか子氏 月刊「ビルクリーニング」編集長

国際協力（発展途上国の研修員受入れ）のコーディネーターやタウン誌発行などを経て、現在（株）クリーンシステム科学研究所に所属、人口問題等を担当

第3テーマ 官から民へ

指定管理者制度等に関する諸問題



会場風景

アドバイザー 海野勝至氏 (株)ビルネット代表
月刊誌「指定管理者制度」を発行、指定管理者制度に関する事業計画書作成から取り組みに関するコンサルティング等を全国で展開

第4テーマ プロパティマネジメント

ビル管理の新しい形や不動産ファンドについて

アドバイザー 遠藤泰夫氏 (株)ビルネット企画担当
一級建築士・認定ファシリティマネージャー・宅地建物取引主任者

大手ゼネコンにて設計部門勤務、退職後月刊誌「指定管理者制度」を発行する(株)ビルネットに所属、海野氏と共に全国で活躍中

分科会終了後、メインホールで各分科会でのディスカッション結果発表を行い、各アドバイザーより補足説明をしていただきました。

その後、この西日本サミットに今後どう取り組んでいくかを発表。

サミット開催前に各県部会長で審議し、当面の間は部会長、副部会長による会議・勉強会を毎年行うことに決定した旨を報告。

最後に福岡県協会副会長（青年部担当理事）の金子誠氏より本日の所感ということで、ご挨拶をいただき、吉次実行委員長の閉会宣言で無事終了致しました。

第1テーマ パート労働者に対する社会保険にどう対応するか

九州ビルサービス(株) 高橋 壮文

西日本サミット分科会の中で社会保障問題について議論しました。支出項目で人件費が殆どを占め、経費削減を進めた苦肉の策が、非常勤労働者増加に繋がっている。

厚生年金・社会保険適用範囲拡大問題が議論される今、どの様に生き残りを図れば良いのか? 法の抜け道はあるのか? 様々な意見が飛び交いました。

いずれにせよ、我々企業にとって、「コンプライアンス(法令遵守)」は絶対であり、適用条件を避け抜け道を見出したにせよ、一時しのぎにしかならない、強引な経費削減をし、質の低下に繋がる事だけは出来ない。

「管理コストを現場単体で考えるのではなく、エリアで考えスケールメリットを出す」「機械化、スタッフの作業能力向上」など前向きな意見も出ました。今後業界を取り巻く環境は更に厳しくなり、ビルメンテナンス業自体の在り方を考える岐路に立たされています。



第2テーマ 労働者減少に伴う雇用対策(外国人雇用について)

(株)セイビ九州 表野 正明



人口減少に伴う労働人口の減少が切実な問題となってきた現在、どのように労働力を確保していくかが大きな問題となっています。

その中で外国人の雇用を考えた場合、勤労意欲の低さ・言葉の壁・離職率が高いなどの問題、また、不法滞在か否か、就労資格があるかどうかなど、法的な立場からみても雇用に関しては様々な問題が残るかと思えます。

一方、今後益々増えていくであろう高齢者の労働力は私達にとって見過ごせないものではないでしょうか。私達の業界は、いわゆる3Kといわれるイメージがありますが、これを払拭し社会に貢献しているというイメージへの転換、労働条件の見直し、いかに募集するかではなくいかに定着してもらうかなど、問題点を一つずつ改善していき、高齢者の方が活躍できる業界にしていくべきではないでしょうか。

第3テーマ 指定管理者制度に関する諸問題

総合システム管理(株) 中川原 潤

指定管理者制度の現状は、様々な案件が各自治体から出されているが、指定管理者となった団体は外郭団体が約4割を占めている。

BM会社においては、各々の地元で指定管理者になる割合が多く、複数都道府県で指定管理者になっている企業は多くない。来年、再来年が1つのピークであり、当該案件の増加が今後見込まれる。

また、LowCostOperationによる独自のサービス提供、ITを活用したシステム導入は新規・継続共に有利、第三者機関による評価制度の導入が今後同制度のポイントとなる。

BM会社が指定管理者に取り組み、AM・PMにも対応可能となるだろうし、各自治体により、取り組みの違いはあるが積極的な参加が大きなビジネスチャンスの1つであると考えます。



第4テーマ ビル管理の新しい形や不動産ファンドについて

(株)ダイワス 和田 達史



アドバイザー遠藤泰夫氏によると、米国で生まれたPM(プロパティマネジメント)という業務形態は元来、物件施設を熟知する職人が、オーナーにとって収益の最適化を図りやすいというメリットのため賃貸管理(テナント誘致等)までをも一括して請け負う資産運用形態であったが、現在日本に持ち込まれたPMはコストの管理(マネーゲーム的)の側面ばかりが強調され、現場の品質の低下が危ぶまれるものになってしまっているという。ディスカッションの中で、PMが浸透しつつある現状が部員から述べられると、今後さらに国内で拡大していくであろうというPM市場においては、今まで技術を蓄えてきたBM業界こそが受け皿になる意志をもたねばなるまいという提言が氏よりなされた。

第10回 福岡県BM協会ボウリング大会開催

日時：平成19年8月23日(木)
 会場：博多スターレーン
 参加者：22チーム 66名

本年度のボウリング大会は、会長公務で東京出張のため18時20分に藤厚生広報委員長の開会挨拶で幕を開け、5分間の練習の後、各チーム一番手の選手が整列を行い、第22レーンから順番に一投目を投げゲームスタート。

ゲーム終了後、場所を移し白水監事乾杯の音頭で懇親会スタート。ビルクリーニング科通信訓練の講習会の講義を終わらせて古賀・金子両副会長が懇親会会場へ到着。古賀副会長挨拶の後表彰式へと移り、金子副会長の閉会挨拶で、21時少し前に本年度のボウリング大会終了となりました。

今回の成績は、右記の通り(株)サニクリーン九州さんが、ほぼ完璧なまでの状態で優勝となりました。その中で、(株)朝日ビルメンテナンスの松尾家則さんが男性の部のハイスコアー賞に輝き一矢報いました。

団体の部		
優勝	(株)サニクリーン九州	1037
準優勝	(株)朝日ビルメンテナンス	923
3位	大成(株)福岡営業所	885
個人の部 (1位)		
男性	熊谷 正彦 (株)サニクリーン九州	402
女性	田辺 美穂 (株)サニクリーン九州	362
個人の部 (ハイスコアー)		
男性	松尾 家則 (株)朝日ビルメンテナンス	218
女性	田辺 美穂 (株)サニクリーン九州	191



開会挨拶を行う藤委員長



優勝をした(株)サニクリーン九州の皆さん



男性個人優勝の熊谷正彦さん



男性ハイスコアー賞の松尾家則さん



女性個人優勝とハイスコアー賞を獲った田辺美穂さん

田辺美穂さんには、近い内「今月のマドンナさん」で登場して頂くことになっています。

第77回 運営委員会報告

日時 平成19年8月1日(水)10:30~12:00
 場所 福岡県自治会館201・202会議室
 出席者 青木、古賀、金子、松岡、梶山、藤、西田、松延、末吉 各理事
 山川、西村(正)、谷川、森永、西村(象)、野形、奉、仲前、後藤 各委員
 重藤、白水 各監事
 芳村事務局長、三浦

協議事項

1. 青年部 西日本サミットの対応について(金子)
 提案通り了承した。
 青年部要請通り主幹青年部の所属協会会長として青木会長が出席し挨拶を行うこととした。
 日時 平成19年8月24日(金) 13:00~17:30
 場所 福岡サンパレス
 内容 パネルディスカッション
 テーマ「未来発見サミット!競争から共生へ」
 懇親会 18:00~
2. 定例懇話会の運営について(西田)
 提案通り了承した。
3. 都市ビル環境の日について(西田)
 提案通り了承した。
 テーマ 「建物と省エネルギー」~ビルメンマン

- のあくなき挑戦~
- 基調講演(財)省エネルギーセンター
 診断指導部技術専門職 三角治洋
 パネルディスカッション
 コーディネーター (株)朝日ビルメンテナンス
 代表取締役社長 金子 誠
 パネリスト(財)省エネルギーセンター
 診断指導部 技術専門職 三角治洋
 (社)福岡ビルディング協会
 理事 経営委員長 結城基夫
 福岡市財政局財産管理課
 アセットマネジメント総合調整担当 馬場章弘
 東洋ビル管理(株)省エネ研-技術
 研究チームチーフアドバイザー 中村 聡
4. 貯水槽清掃作業従事者研修会用資料作成について(山川)
 提案通り了承した。
 5. 労働安全衛生大会における労働局講演用資料の印刷について(松延)
 提案通り外注印刷について了承した。
 見積金額 62,475円(税込)
 6. パソコン教室の実施要領について(梶山)
 提案通り開催に向けて進めることを了承した。

報告事項

1. 全協テレビ会議導入について
2. 県協会ホームページに関するアンケートについて
3. 都市ビル環境の日委員会報告
開催日 平成19年7月19日(木)
出席者 18名
議題
 予算の配分
 シンポジウムの具体的実施要領の検討
 クリーンアップ福岡の実施要領の検討

その他

4. 清掃作業従事者研修会実施報告
入門コース 福岡会場
日 時 平成19年7月10日(火)
会 場 ももちパレス
受講者数 43名(3)
入門コース 北九州会場
日 時 平成19年7月18日(水)
会 場 北九州パレス
受講者数 31名(1) ()内数字は一般

第78回 運営委員会報告

日 時 平成19年9月3日(月)13:30~16:00
場 所 県協会会議室
出席者 青木、古賀、金子、松岡、梶山、藤、西田、
松延 各理事
山川、西村(正)、谷川、森永、西村(象)、
野形、峯、仲前、後藤 各委員
重藤、白水 各監事
芳村事務局長、三浦

協議事項

1. 新入会員入会承認の件(西田)
入会希望事業所 株式会社 アームズ
代表取締役 久保嘉一
北九州市八幡西区本城一丁目19番1号
推薦会員
(株)富士メンテサービス (株)川原グループ
西田総務財政委員長の上申により上記事業所の
入会を了承し、理事会に上程することとした。
2. 新入青年部員入部承認の件(金子)
岡崎 誠(33)
(株)朝日ビルメンテナンス 課長
青年部の入会を申請通り了承し、理事会に上程
することとした。
3. 第62回 九州地区本部会議及び九州ビルメンテナ
ンス協会理事会の対応について(西田)
提案通り了承し、会員各位に案内を送付するこ
ととした。
4. 全国公益法人協会準会員の継続について(西田)
会費 6ヶ月(2007年10月~2008年3月)
¥33,000 -
継続することを承認
5. 北海道ビルメン新世紀会の「都市ビル環境の日」
事業参加依頼の対応について(西田)
参加することについて承認し、対応については
都市ビル環境の日委員会に一任することとした。
また、GEコンシューマー(不動産ビルオーナー)
より10名程度が「クリーンアップ福岡」への参加す
ることとなっている。
6. 「都市ビル環境の日」行事の広報活動について(西村)
提案通りテレビCMによる広報活動を承認した。
なお、制作打合せについては、9月6日16時より協
会事務局で行うこととした。
出席者：会長、金子副会長、西村、野形厚生広報
副委員長(古賀副会長は東京出張)
放送金額 525,000円
CM制作料 472,500円
合計 997,500円
7. 平成19年度研修旅行について(藤)
催行日及び行き先
平成19年10月25日(木)~28日(日) ベトナム(2泊4日)

JALセールス九州、九郵観光サービス、KM
トラベルの三社から提出された行程、経費見積も
りを検討した結果、宿泊ホテルの差によるが多少
では有るが経費的に一番安く、過去の実績があり、
他の二社に比べ既に宿泊先・飛行機の確保が出来
ていることから安心であるため、「JALセール
ス九州」案を採用したいとする厚生広報案での催
行を了承した。

8. 兵庫協会との交流会について(梶山)
日程については、10月16・17日とし、交流会の
内容については、委員会に一任することとした。
なお、兵庫協会が17日にゴルフコンペを希望して
いることから、当協会のゴルフ会を交流会の日程
に合わせることにした。
9. 平成19年度ビルクリーニング関係訓練・講習に
係る指導講師の推薦について(松岡)
提案通り、18年度講師全員を推薦することで承認
10. その他
福岡県補助金減額の要請について(青木)
要請の趣旨を理解したが、尚検討することとした。

報告事項

- ・労働安全衛生大会収支報告(松延)
一般会計予算 500,000円
使用額 402,035円 残額 97,965円
特別会計予算 250,000円
使用額 250,000円 残額 0円
- ・ボーリング大会報告(野形)
別欄記載通り
- ・各委員会開催報告
- 1. 都市ビル環境の日委員会
開催日 平成19年8月9日(木)
出席者 22名
議題
 A. シンポジウム関係
 1. 基調講演者及びパネリストの確認に
 ついて
 2. 青年部企画発表のタイトル及び内容
 の確認について
 3. 総合司会者の確認について
 B. 「クリーンアップ福岡」関係について
 C. パンフレット作成関係について
 D. マスコミ対応関係について
 E. 講師謝金等について
 F. パネルディスカッションの展開について
- 2. 厚生広報委員会
開催日 平成19年8月23日(木)
出席者 9名
議題 1. 平成19年度研修旅行について

2. ボウリング大会の運営について
3. 総務財政委員会
 開催日 平成19年8月28日(火)
 出席者 13名
 議題 1. 新入会員入会資格審査について
 2. 平成19年度 補正(修正)予算案について

4. 第10回公益社団法人化特別委員会
 開催日 平成19年9月3日(月)
 出席者 8名
 議題 1. 平成19年度 補正予算について
 2. 組織編制について

第332回 理事会報告

1. 本理事会は文書によって行った。
 平成19年9月3日付19福ビル協第122号文書「文書による理事会の開催について」を全理事に郵送し、平成19年9月14日を回答期限として実施した。
2. 回答結果
 理事数 18名
 回答数 18名
 よって、本理事会は有効に成立した。
3. 議案
 第1号議案 新入会員の入会承認に関する件
 第2号議案 新入青年部員入部承認に関する件
4. 議案採決の結果
 第1号議案 承認する 18票 承認しない 0票
 第2号議案 承認する 18票 承認しない 0票
 よって、提出議案は何れも承認された。

我が社のホープ

(株)ケイアンドケイ



中村陽子さん

年齢 / 32歳
 勤務年数 / 7年5ヶ月
 趣味 / 飲酒

上司からの一言

我が社のトップセールス！
 酒が入ると気が大きくなり、
 豪快、笑いが多くなります。
 常に人に対する気配りを
 を忘れず、社内でも人気
 者です。

入江順子さん

年齢 / 34歳
 勤務年数 / 4年
 処世訓・モットー / 笑顔を大切に
 趣味 / 貯金
 特技 / バスケットボール

上司からの一言

いつも明るく、社内では
 ムードメーカーです。仕
 事は粘り強く、たのめしく、
 頼りがいのある人です。

福岡県ビルメンテナン協会

10月4日

都市ビル環境の日

TVコマーシャル放映決まる！

KBC TV

9月28日～10月4日(予定)



平成19年 10月 行事予定表

1	月	10:30 第11回公益社団法人化特別委員会 13:30 第79回運営委員会 於:県協会会議室
4	木	都市ビル環境の日 「クリーンアップ福岡」 13:30 シンポジウム 於:九州エネルギー館
16	火	兵庫協会交流会 10 / 16 ~ 17 於:福岡
17	水	第37回福岡県BM協会ゴルフ会 於:福岡カンパニー倶楽部
23	火	15:00 第103回政治連盟理事会 於:県協会会議室
25	木	平成19年度研修旅行 10 / 25 ~ 28

毎週金曜日は知事登録業務相談窓口開設日です。
 毎月10日は災害発生報告書提出締切日です。